

# 和歌山県有田郡広川町

## ツギー谷のお花畑の活用を通じた 津木地域の活性化を考える



### 【地域の基礎データ】

人口：6,705 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

高齢化率：34.2%（令和 3 年 1 月 1 日現在）

産業：農林業、漁業、製造業 など

### 【活動の基本情報】

参加学生数：17 名（1 回生：5 名、2 回生：7 名、  
3 回生：4 名、4 回生：1 名）

活動期間：平成 26 年 6 月～令和 4 年 1 月

担当教員：永瀬節治

### 1. 活動実施の経緯

本 LIP では、広川町津木地区の活性化に取り組む津木地区寄合会（以下、寄合会）の活動を平成 26 年度より支援している。これまでに、寄合会の活動拠点である「ツギー谷のお花畑」（以下、お花畑）におけるイベントの企画運営や、地域内外の出店イベントでの加工品の販売、「稲むらの火」の舞台である広地区での活動等を寄合会と連携し実践してきた。

### 2. 活動の内容

今年度もリニューアルされたお花畑の活用を中心とした活動を計画していたが、コロナ禍に伴い諸条件が十分に整わず、オンラインでの意見交換以外に、津木地域での活動を行うことができなかった。一方で、10 月には和歌山市駅近くの紀の川河川敷での社会実験「夕暮れのシエキノカワでピクニック。」に参加し、津木地域の薬草茶や露茜ジャムなどの特産品販売、子供たちを対象とした体験ワークショップを行ったほか、11 月には広川町広地区と湯浅町の現地訪問を行い、同時期に開催されていた「エモい町 湯浅広川フォトコンテスト」に参加した。コンテストでは学生たちが撮影した写真が優秀賞を受賞することができた。

### 3. 活動を通じて

今年度はプログラムの最終年度となったが、上述の通り津木地区での活動を実施することができなかった。寄合会をはじめとする地域の方々との実質的な交流の機会も設けることができず、この点は非常に心残りな点である。一方で、広川町 LIP は 2014 年度より活動を継続しており、地域と学生との協働関係を築いていることから、来年度以降は学生主導 LPP として再スタートする方向で検討を進める予定である。

#### 4. 成果物（ポスター）



和歌山大学観光学部

## 広川町 Local Internship Program

ー ツーギー谷のお花畑の活用を通じた津木地域の活性化を考えるー

### 広川LIPの活動について

私たち広川LIPは、広川町津木地区の「魅力発見」と「魅力発信」を目的に活動しています。津木地区寄合会の方々と連携して2014年から活動を続けています。今年で8年目になる広川LIPは、今年度は1年生5名、2年生7名、3年生4名で活動に取り組みました。昨年に引き続き、広川町津木地区のお花畑の活用に関わることを目的としていましたが、新型コロナウイルスによる課外活動の制限により、現地での十分な活動を実施することが困難でした。今年度はオンライン上や学内での会議の活動がメインでしたが、GGPへの出店と現地訪問から得た経験を今後の活動に生かされるようにしていきたいです。



### 2021年度 スケジュール

- 6月 スメンバー集合わけ(Zoom)
- 7月 事前学習
- 8月 寄合会の方との顔合わせ(Zoom)
- 10月 GGP
- 11月 現地訪問
- 12月 フォトコンテスト

### 2021年度活動報告

#### 事前学習

広川LIPの活動地域である広川町・津木地区についての事前学習を行いました。今年度から参加した1年生・2年生が主体となって、広川町、津木地区の2つのチームに分かれ、それぞれ対象地域について調べたことをまとめて発表を行いました。この発表は新メンバーのみならず、既存メンバーの地域に関する知識の確認にも役立ちました。現地訪問が十分にできない中、地域についての基本的な知識を得て、地域に関心を持つことを目的に行いました。調べ学習を行う中で地域への興味が溜り、現地訪問を行いたいという気持ちが強まりました。

#### GGP

広川LIPとして、市駅「グリーングリーン」プロジェクト(GGP)に出店させていただきました。広川町津木地区の特産品の販売・子供向けの体験イベントを実施しました。特産品の販売では、津木地区で採れた葉草を使用したお茶や「露西」と呼ばれるスモモと梅の交配種を使用した「露昔ジャム」の販売を行いました。特に露昔ジャムは大人気で、完売でした。子供向けの体験イベントでは、手形アートとぶんぶんゴマのブースを作り、学生が作り方を説明した後、子供たちの自由な発想でお絵描きをしてもらいました。物販も体験イベントも今年度初の対面の大きな活動だったため、イベント後には達成感を得ることができました。GGPに出店した経験が、今後このようなイベントを再び行いたいという思いにつながりました。

#### 現地訪問

今年度は、広川町への現地訪問を1回実施しました。新型コロナウイルスの影響で現地訪問を行う機会が無く、新メンバーにとっては初めて、既存メンバーにとっては久しぶりの現地訪問でした。今回の訪問では、広八幡神社・稲村の火の館・耐久社・広村堤防を順番に回り、事前学習でも調べた場所に実際に訪問しました。稲村の火の館では、津波にまつわる展示やビデオを見て、津波がもたらす被害の大きさを感じるとともに、濱口橋陵の偉大な功績についても知ることができました。広村堤防には、松の木がたくさん植わっており、これも広川町における津波への対策であることを実際に目で見て確認することができました。次年度は、現地訪問をもっと頻繁に行い、広川町地域の方々と協力して様々な活動を行いたいと感じました。

また、現地訪問の際に撮影した写真を「エモい町海浅広川フォトコンテスト」に応募しました。広川LIPが撮影した写真は、風景部門「優秀賞」を受賞しました。



(左：現地訪問での写真、右：優秀賞を受賞した写真)

Instagram : @hirogawa lip #inamura fire

